

〈 セミナーのご案内 〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご閲覧につき、ご高配をお願いいたします。

回					
覧					

高等教育活性化シリーズ 163(通算 458 回)

2010 年 5 月 27 日 (木)

“算定方式”の錯誤と革新—

G P A 制度の進化と成績評価の説明責任

高等教育活性化シリーズ 164(通算 461 回)

2010 年 6 月 4 日 (金)

大学の“教育責任”の実質化—

教員評価・人事制度の進化と運用Ⅳ

“算定方式”の錯誤と革新—

G P A 制度の進化と成績評価の説明責任

～的確な履修—学修指導／成績証明の信頼性を高めるために～

- ※ 7つの学修インフラ／米・欧・亜・豪調査結果／fGPA の国際優位性／学生への説明責任
- ※ [宮崎大] 素点に基づく GPA/GPA(学習成果)と GPC(教育活動)両面の重要性／学習状況調査と学習成果
- ※ [同志社女子大] 旧 GP 算出法の不合理性／連続 Grading Scale の考案／04 年導入と 09 年再検討
- ※ [パネル討論] GP・GPA・GPC の算出の進化／学修インフラと導入方策／学修・成績の説明責任

● 講師・パネリスト 陣 ●

半田 智久 氏 / お茶の水女子大学 教育開発センター 教授
武方 壮一 氏 / 宮崎大学 教育研究・地域連携センター 准教授
山本 寿 氏 / 同志社女子大学 生活科学部 教授

☆パネル討論
“論点”の共有と
展開方策の明確化

2010 年 5 月 27 日 (木) 剛堂会館 会議室 (東京・麹町)

大学の“教育責任”の実質化—

教員評価・人事制度の進化と運用Ⅳ

～“契約”と“評価”による相互選択／インセンティブと処遇反映～

- ※ 教員の役割・タイプに基づく契約方式／採用時及び・再任・昇格時の評価／留意点と今後
- ※ 組織目標と整合した人事制度／国公立大アンケート調査結果から／課題と進化
- ※ [愛媛大] 教員の総合的業績評価／処遇・インセンティブ付与／評価と併行した支援・能力開発
- ※ [金沢星稜大] “教員像”共有／自主申告・授業参観・役職者面談／「星稜モデル」

● 講師 陣 ●

今泉 忠 氏 / 多摩大学 経営情報学部 教授、前・副学長、元・経営情報学部長
奥居 正樹 氏 / 広島大学 大学院社会科学部 准教授
柳澤 康信 氏 / 愛媛大学 学長
坂野 光俊 氏 / 金沢星稜大学 学長

2010 年 6 月 4 日 (金) 剛堂会館 会議室 (東京・麹町)

[参加要領]

日時 : 高等教育活性化シリーズ 163 「GPA制度の進化と成績評価の説明責任」
 2010年5月27日(木) 13:00~16:50
 高等教育活性化シリーズ 164 「教員評価・人事制度の進化と運用IV」
 2010年6月4日(金) 9:40~16:50
 会場 : 剛堂会館(明治薬科大学)会議室 (東京・麹町) ※両日程、同会場です
 東京都千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362
 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口から徒歩4分、JR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口から徒歩10分)

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声CD送付)
高等教育活性化シリーズ 163 GPA制度の進化と成績評価の説明責任	42,000円 (消費税込)	43,000円(送料、消費税込)
高等教育活性化シリーズ 164 教員評価・人事制度の進化と運用IV	43,000円 (消費税込)	44,000円(送料、消費税込)

※参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。
 受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替:00110-8-81660
 口座名 (株)地域科学研究会
 (なお、ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

お申込み・お問合せ  地域科学研究会 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
 高等教育情報センター TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2010年 月 日

- 高等教育活性化シリーズ 163 GPA制度の進化と成績評価の説明責任
 当日参加 メディア参加
 ■ 高等教育活性化シリーズ 164 教員評価・人事制度の進化と運用IV
 当日参加 メディア参加 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 請求書(要 不要)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講 義 項 目
13:00 ～ 14:30	<p>□ functionalGPA による成績評価と教育の質保証 ～GPA の国際通用性/絶対的相対評価/学修・成績証明書～ お茶の水女子大学 半田 智久</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 厳格・厳正な成績評価を支える教学システム ～運用と効能発揮のための7つの前提インフラ～ 2. 国際的にも通用する GPA 制度を拓く～fGPA の優位性 ～米・欧・亜・豪、国際調査の結果を踏まえて～ 3. 教員の多様な成績原評価に柔軟に対応する絶対的相対評価手法 ～GP の算出方式のマジック/攪乱と錯誤から“脱” 4. 学修と成績の公正・厳格な証明書の提案 ～学生への説明責任に立ち、意欲を高める/学修の“質”保証～
14:40 ～ 15:10	<p>□ [宮崎大] GPA の運用・活用状況と厳格な成績評価の進化 ～GPA 算定方式/GPA と GPC/学習成果と成績証明～ 宮崎大学 武方 壮一</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. GPA 算定方式 <ol style="list-style-type: none"> (1) 素点に基づいた GPA 算定 (2) $GP=(成績-50)/10$ or $GP=(成績-54.5)/10$ 2. GPA (学習成果) と GPC (教育活動) 両面考慮の重要性 <ol style="list-style-type: none"> (1) $GPC=\Sigma(\text{各学生のGP})/\Sigma(\text{科目登録者数})$ (2) 教員の教育活動の指標としての GPC (3) GPA 制度を機能させるための GPC 3. 厳格な成績評価へ進化させるために <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習状況調査からわかること (2) 組織的な教育の質の向上を図るための課題 (3) 教育の質の向上から学習成果へ
15:20 ～ 15:50	<p>□ [同志社女子大] GPA 制度の導入・運用とその後の進化 ～旧 GP 算出法の不合理性と連続 Grading Scale の考案～ 同志社女子大学 山本 寿</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 旧 GP 算出法の不合理性 <ol style="list-style-type: none"> (1) アメリカの Grading System (2) 日本における通常の GP 算出法 (100 点法から GP へ) (3) 問題点 2. 連続 Grading Scale の考案 (2002) <ol style="list-style-type: none"> (1) 100 点法の精度との両立 (2) 通常の Grading System との対応 3. GPA 制度導入 (2004) と再検討 (2009) <ol style="list-style-type: none"> (1) 学内での合意形成と論議 (2) 運用 (3) 新たな課題と検討
16:00 ～ 16:50	<p>□ パネル討論 GP・GPA・GPC の算出の進化/学修インフラと導入方策/学修・成績の説明責任 ○パネリスト 半田 智久 / 武方 壮一 / 山本 寿 ○司会 地域科学研究会 高等教育情報センター 研究員</p>

時間	講 義 項 目
9:40) 11:30	<p>□ 教員の役割・コミットメントに基づく契約と業績評価 ～大学×学生×教員間の“社会評価・相互選択に”時代を拓く～ 多摩大学 今泉 忠</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育理念・教育課程にもとづいた教員編成計画～教育重視型大学のケース 2. 教員採用時の契約方式と留意点 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教員の教育上の役割・コミットメントの明確化 <ol style="list-style-type: none"> ①教育 ②ディレクター ③研究 (2) 教員のタイプと求められる役割～プロジェクト型チームビルディングのために <ol style="list-style-type: none"> ①教育重視型 ②研究重視型 ③実務教育型 ④マネージャ型 ⑤ノンジャパニーズ型 (3) 給与体系～ 年俸制から月給制へ 3. 再任・昇格時の業績評価～教育重視型の場合 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教員評価の原則～教育をどう評価するか (2) 学生からの評価～授業内アンケートと科目への評価 (3) 教員の自己評価と他者評価～チームメンバーとして納得できるデータとは 4. 大学の社会評価の進化～教育重視大学での教員力向上の目標 〈質疑応答〉
11:40) 12:40	<p>□ 教員評価制度の運用・活用状況と進化 ～「研究者等個人業績評価の先進事例アンケート調査」結果を踏まえて～ 広島大学 奥居 正樹</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国公立大学における教員評価の導入状況 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教員評価の実施率 (2) 教員評価の導入目的 2. 教員評価の評価項目と評価結果の活用 <ol style="list-style-type: none"> (1) 研究に関する項目 (2) 教育・管理運営・社会貢献に関する項目 (3) 評価結果の活用方策 3. 教員評価の課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教員評価の導入時と導入後の比較にみる課題の変化 (2) 質的向上を図るための要点 〈質疑応答〉
13:40) 15:10	<p>□ [愛媛大] 教員の評価・処遇とサポート体制 ～評価と併行した支援・能力開発の必要性～ 愛媛大学 柳澤 康信</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教員の総合的業績評価 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自己評価 (2) 部局個人評価 2. 評価に基づく処遇及びインセンティブ付与 <ol style="list-style-type: none"> (1) 処遇への反映 (2) インセンティブ付与 3. 評価と併行した支援・能力開発の必要性 <ol style="list-style-type: none"> (1) 広義のFD (2) 評価制度に見合うサポート体制 4. 教員の支援・能力開発の現状と将来 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育業務に関する能力開発 (2) 教育以外の業務に関する支援・能力開発のあり方 〈質疑応答〉
15:20) 16:50	<p>□ [金沢星稜大] “教員像”共有のための業績評価システム ～教員は「自分を超越する力をつける」ことに生き甲斐を感じているか～ 金沢星稜大学 坂野 光俊</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学改革と教員評価 <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学概要と大学改革小史 (2) 教員評価システムの導入前史 (3) 教員評価システムの導入の狙い 2. 教員業績評価システムの展開 <ol style="list-style-type: none"> (1) 当初方式から現行方式へ (2) 教員業績評価システムの概要 (3) 自主申告、授業参観と役職者による面談指導～昇格人事での活用 3. 「教員評価」の全体像：教員業績評価システム以外の「教員評価」 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学生の授業評価 (2) 学生の声を直に聞く (3) 研究費の傾斜配分方式 (4) 成績評価の厳格化問題と学長・学部長による面談指導 (5) 学生の授業不満への対応と授業担当をはずした研修制度 4. 教員評価「星稜モデル」の意義と限界 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自己申告制の意義と限界 (2) 質的評価を欠く量的評価中心制度の意義と限界 (3) 教員の教育力・研究力は向上したか：「教師の魂」は醸成されたか (4) 今後の課題 <ol style="list-style-type: none"> ①量的客観的評価項目のバランス問題 ②質的評価基準の導入の必要 ③第三者（学生＋教職員＋理事者）を追加する ④評価を処遇にどう反映させるか ⑤2種類（定年制と任期制）の教員の存在との関連 〈質疑応答〉